

松江城景観形成基準 見直し案

3-3 主要な展望地

(1) 松江城

全国に現存する12天守の一つ。山陰では唯一の天守で、松江のシンボルとなっている。天守からは松江の市街地を一望することができ、特に南の方向の宍道湖に浮かぶ嫁ヶ島は絶景である。

(追加) ◆松江城からの眺望基準の基本方針

- ・建物等の高さ規制による東西南北に連続する山の稜線景観、および宍道湖に浮かぶ嫁ヶ島の眺望を保全する。



松江城天守



天守より南方向(宍道湖・嫁ヶ島・松江の市街地)を望む

変更前

【松江城景観形成基準】

- ・天守から見える東西南北の山の稜線の眺望を妨げない
- ・天守から宍道湖の湖面が見える範囲で、嫁ヶ島の水際線を延長した線を侵さない

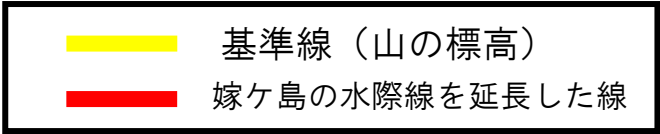
変更後

【松江城からの眺望基準】

- ・天守から見える東西南北の基準線(山の標高:図1~4参照)に接しない高さとする。ただし、松江市景観審議会の審議により、次のいずれかに該当する施設においては、規制の緩和を認めることができる。
 - ①公益性が高いと認められる施設※1
 - ②松江駅周辺地域※2の施設
- ・天守から宍道湖の湖面が見える範囲で、嫁ヶ島の水際線を延長した線に接しない高さとする。

※1 公益性が高いと認められる施設とは、学校、病院等とする。

※2 松江駅周辺地域は、中心市街地エリアビジョン松江駅周辺ゾーンとする。



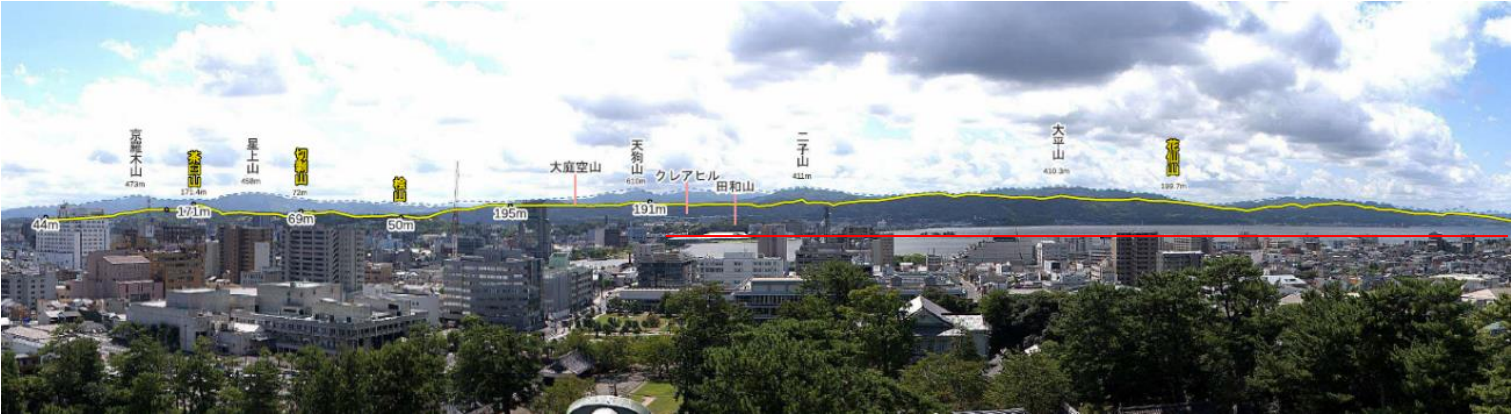
(図1)東



(図 2)西



(図 3)南



(図 4)北



【松江駅周辺地域】

中心市街地エリアビジョン(市民と共有する「L字ライン」の未来地図)から抜粋



【松江城天守最上階の視点高について】

①日本人の目線の高さ
約 150cm
(平均身長一頭頂部から目までの高さ)

②松江城最上階床高
約 49.5m (標高)

松江城天守最上階の視点高
床高 49.5m + 目線の高さ 1.5m = 51m

